第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［テキスト］

［１］　北欧は人口過疎地域である。スウェーデンが1000万人，アイスランドが30万人，他の３か国は500万人。いずれも１人当たりGNIが高い福祉国家である。

・アイスランド・・・海嶺上に形成された火山島からなる。水力発電と地熱発電が行われ，魚介類が主な輸出品目の一つ。

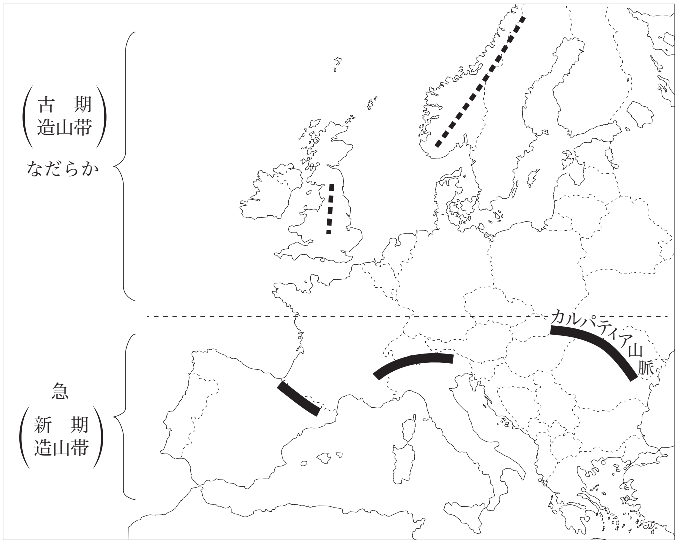
・ノルウェー・・・急傾斜と豊富な降水量を利用して水力発電が行われ，アルミニウムの生産はヨーロッパ１位。北海油田に面し，原油や天然ガスが主要輸出品目である。暖流の影響により，最北端のハンメルフェストも不凍港となっている。北極圏に位置するナルビクは，スウェーデン北部の鉄鉱石を積み出す港湾である。EU未加盟。

・スウェーデン・・・森林国であり，北欧最大の工業国でもある。福祉政策の奏功によって，1990年代には合計特殊出生率が2.1まで回復した(現在はやや低下)。発電は水力と原子力。北極圏に鉄山(カルビクより輸送)。

・フィンランド・・・「森と湖の国」。木くずをバイオマス発電に利用。原子力発電も行われる。フィンランド語はアジア系の言語。

・デンマーク・・・国土の半分以上が耕地。風力発電が総発電量の40％を占めている。酪農が盛んであり，肉類(豚肉)の輸出が多い。

［２］　**サ〜ス**はいずれも北緯60°付近に位置する都市。北ヨーロッパの国々はいずれも人口規模が小さいことがポイント。



［３］　ヨーロッパの地形は「北でなだらか，南で急」である。北部は安定陸塊や古期造山帯，南部は新期造山帯。

主な安定陸塊の地形は，バルト楯状地（スウェーデンやフィンランド。古い時代の岩盤が露出）。またロンドンやパリの構造平野にはケスタ地形がみられる。

主な古期造山帯の地形は，ペニン山脈（イギリス本島を縦断），スカンジナビア山脈（スカンジナビア半島の西岸に沿う），スデーティ山脈（ポーランド南部。石炭資源が豊富）。

主な新期造山帯の地形は，ピレネー山脈，アルプス山脈，イタリア半島（火山がみられる），カルパティア山脈（東ヨーロッパ中央部。ヨーロッパで最も北に位置する新期造山帯）。

それぞれの選択肢の分析に入ろう。

Ｘは「原子力発電所」に注目。全体として原子力発電所の開発には積極的でないヨーロッパではあるが，現在も依存度が高い国はある。

Ｙは「炭田」，「大工業地帯」がキーワード。なお，河口付近には掘り込み式の人工港がつくられ，ヨーロッパ有数の貿易港となっている。

Ｚは河口からやや遡ったところに大都市が立地している点に注目。「人口の過密化」解消のためにニュータウン開発が行われた歴史もある。世界都市として，金融業の世界的中心地の一つ。

［４］　主要５か国の首都については，人口規模と位置が重要。なお，ヨーロッパにおいてはスイスを除いて全て人口最大都市と首都が一致。

・ロンドン（イギリス）・・・国土の南部に位置。テムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発達。国内人口の１割以上が集中。旧港湾地区（ドックランズ）ではスラムの再開発が行われた。
・パリ（フランス）・・・国土の北部に位置。都市圏人口は1000万人に達し，中央集権国家の中心。パリ盆地はヨーロッパを代表する小麦栽培地域でもある。都心部の歴史的地区は観光地として整備され，都市郊外に副都心（ラデファンス）や移民の集住地区などが設けられている。
・マドリード（スペイン）・・・国土の中央部のやや乾燥した高原上に位置。人口は300万人で自動車工業などが発達。なお，地中海に面するバルセロナは国内第２の都市であり，フランスなどから自動車工場が進出。
・ローマ（イタリア）・・・イタリア半島の「ヒザ」に位置する。イタリア南部は経

済的に恵まれず，ローマも観光地として栄えるものの，商工業は発達していない。人口300万人。市内にカトリックの聖地であるバチカン市国がある。

・ベルリン（ドイツ）・・・国土の東部に位置。かつての社会主義地域であるドイツ東部は経済レベルが低く，人口流出地域である。ベルリンも国内人口最大都市（350万人）ではあるが，産業や経済の中心ではない。

ア・・・「エスチュアリー」に面する港湾都市が首都である。「金融」が発達するのは１人当たりGNIが高い国。

イ・・・都市が分散し，決して首都を中心とした国家ではない。北西部の「炭田」を中心とした工業地域が重要。また，南部の都市は国内人口３位であり，伝統的な産業に加え，近年は先端産業も発達。

ウ・・・首都は盆地の中央に位置し，「一極集中」である。なお，北東部のロレーヌ地方ではかつて鉄山を中心とした鉄鋼業が栄えたが，現在は衰退している（ダンケルクなど臨海部に輸入資源を利用した製鉄所が新設）。

イギリスとフランスについて首都以外の主要都市を挙げておこう。

（イギリス）

・グラスゴー・・・スコットランド地方の中心都市。一帯はシリコングレンとよばれ，先端産業が発達。

・マンチェスター・・・ペニン山脈の西麓に位置。産業革命発祥の地であるランカシャー地方の中心都市。偏西風の影響で湿度が高く，綿工業の成立に有利だった。

・バーミンガム・・・ペニン山脈南部。石炭と鉄鉱石資源に恵まれ鉄鋼業が発達。現在は機械工業など。

（フランス）

・ダンケルク・・・ドーヴァー海峡に面する港湾都市。臨海型の製鉄所が設けられた。

・ストラスブール・・・ドイツに接するアルザス地方の中心都市。ライン川に面する河港を有し，ヨーロッパ議会が置かれる。アルザス地方は，フランスとドイツとの係争地だった。

・トゥールーズ・・・南部の都市。航空機のEU共同工場が立地。

・ニース・・・地中海に面する保養都市。北部ヨーロッパの人々がバカンスを楽しむ。

［５］　Ｃはロンドンとパリである。これらの都市の特徴を考えよう。

注目するべきは，オランダのロッテルダム。ライン川河口の三角州(デルタ)に位置し，沿岸を掘り込むことによって人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ有数の貿易額を誇るだけでなく，輸入資源を利用した石油化学工業も立地している。

［６］　ドイツは国土の周辺部に主要都市が分散している。

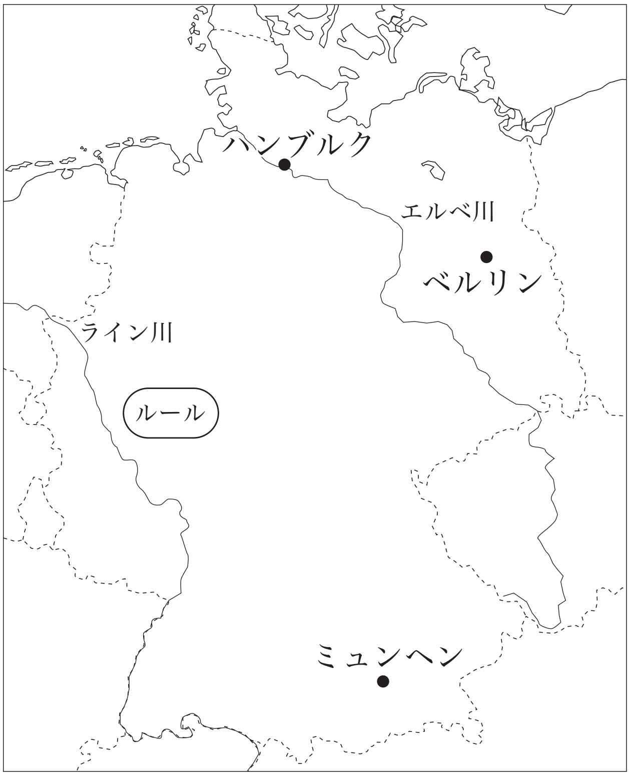
・北部・・・ハンブルク。エルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市で造船業が発達。中世の自治都市(ハンザ同盟都市)の一つ。

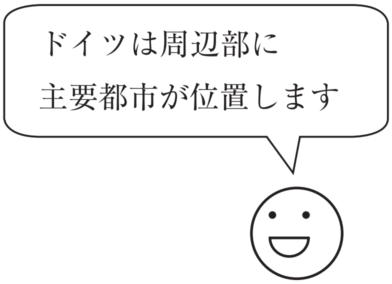
・西部・・・ルール地方。デュイスブルクやエッセンなど中小都市が重なり，連接した都市圏を形成(コナベーション)。炭田立地型のルール工業地帯。ライン川の水運を利用。

・南部・・・ミュンヘン。カトリック教徒の多いバイエルン州の中心都市。ビールの街として知られるが，自動車工業や先端産業も発達。

・東部・・・ベルリン。首都にして人口最大都市ではあるが，経済的には停滞。

直接的なキーワードは「ビール祭り」。ただし「ブドウ」にも注目してほしい。ヨーロッパにおけるブドウの栽培北限はパリ盆地であり，北ヨーロッパでは栽培されない。また，河川や運河で「さまざまな国旗を掲げた貨物船」が行き来していることも重要。国際河川(複数の国を流れ，沿岸国の自由航行が認められた河川)であり，さらにヨーロッパの地形を考えた場合，険しい地形の南部では河川交通は発達しないことから，南部ではないとわかる。





［７］　イタリアの都市を整理しよう。

・「黄金の三角地帯」・・・北西部の工業地帯。トリノ（自動車）やミラノ（ファッション産業）など。
・「サードイタリー（第三のイタリア）」・・・北東部のボローニャを中心とした地域。伝統的な衣類や皮革工業など，中小工場のネットワーク。
・ベネチア・・・土砂の堆積地形の上に市街地が形成。「運河の街」。
・タラント・・・イタリア半島の南端。南北格差是正のバノーニ計画の一環として，輸入資源に依存した臨海型の製鉄所が新設された。

［８］　ヨーロッパの言語（民族）分布は以下の通り。

・ゲルマン系・・・北西部。北ヨーロッパやイギリス，ドイツなど。
・ラテン（ロマンス）系・・・南西部。フランス，スペイン，イタリアなど。
・スラブ系・・・東部。ポーランド，旧ユーゴスラビア，ロシアなど。

　言語系統と宗教（宗派）は大まかに対応する。ゲルマン系がプロテスタント，ラテン系がカトリック，スラブ系が東方正教。ただし，カトリックの分布範囲は広く，ゲルマン系でもドイツ南部はカトリック地域であり，さらにスラブ系でもポー

ランドは熱心なカトリック国として知られる。

また，旧ユーゴスラビア地域は主にスラブ民族であるが宗教構成が複雑で，西部(クロアチアなど)ではカトリック，東部(セルビアなど)では東方正教が主。ボスニア・ヘルツェゴビナなどではイスラム教徒も多い。

・北アイルランド地方・・・アングロサクソン(ゲルマン)系のプロテスタント教徒と，アイルランド(ケルト)系のカトリック教徒の対立。かつてイギリスがアイルランドを植民地としていた歴史も。
・ベルギー・・・北部のフラマン地方ではゲルマン系のオランダ語，南部のワロン地方ではラテン系のフランス語が使用されるなど，多言語国家となっている。ヨーロッパにおける多言語国家の例としては，他にスイスがある(ドイツ語，フランス語，イタリア語，レートロマン語が公用語)。
・バスク地方・・・フランスからスペインにまたがる地域。周辺地域とは異なった言語が使用される。独立や自治権の拡大を求める動きも(ただし，宗教はカトリックで周辺国と同じ)。
　(参考)ブリュッセルにはEUの本部が置かれる。EUの加盟国はイギリスの離脱により27カ国。域内人口は28カ国時代は5億人を超えていたが，現在は約4.5億人。

［９］　ヨーロッパは河川交通の発達した地域で，多くの国際河川が流れ，それぞれが運河で連結されている。
・エルベ川・・・チェコからドイツを通り北海へ流れる。河口のエスチュアリーには港湾都市のハンブルク。
・ライン川・・・スイスやフランス，ドイツなどを流域に収め，オランダから北海に流出。河口に三角州を形成。沿岸にはバーゼル(スイス。精密機械工業)，ストラスブール(欧州議会)，デュイスブルク(ルール地方。鉄鋼業)など河港を備えた都市が並ぶ。河口は掘削され，ロッテルダムに人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ最大の貿易港であり，石油化学工業も立地。なお，支流のマイン川の沿岸には金融業の中心であるフランクフルト(欧州中央銀行)。
・ドナウ川・・・ドイツ南部から東ヨーロッパへ流れ，黒海に注ぐ。沿岸にはウィーン(音楽の都)，ブダペスト(双子都市)，ベオグラード(旧ユーゴスラビアの首都)が位置し，さらにルーマニアとブルガリアの国境を成す。河口はデルタを成し，湿地帯である。ハンガリー盆地は肥沃な土壌レスに恵まれ，小麦とトウモロコ

シの栽培が特徴的な農業地域である。

J；ルール工業地帯に近接するデュッセルドルフ。ライン川に沿って多くの中規模都市が並ぶ。

K；アルザス地方の中心都市ストラスブール。かつてドイツに支配されていた時代も。アルザス地方は肥沃な土壌にも恵まれ，ブドウの栽培で名高い。

L；オーストリアの首都ウィーン。多くの音楽家が活動拠点とした。

M；セルビアの首都ベオグラード。ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の首都でもあった。旧ユーゴスラビアはカトリックと東方正教，イスラム教が混在する地域。

[10]　①；「エスチュアリー」がポイント。

②；「ラグーン」とは，砂の堆積地形(砂州など)によって外海とほぼ区切られた水域。浅海に土砂が堆積することによって様々な地形が生まれている。

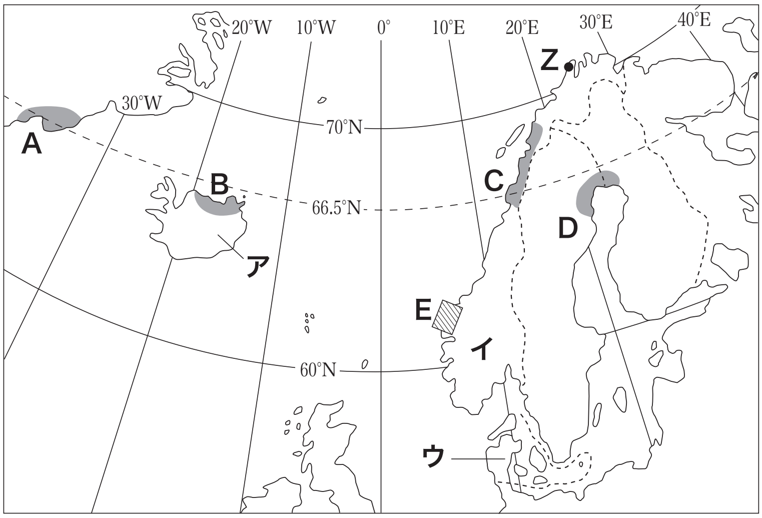
③；三角州(デルタ)を形成する主な河川は，長江，メコン川，ガンジス・ブラマプトラ川，ナイル川(円弧状三角州)，ニジェール川，ライン川，ドナウ川，ミシシッピ川(鳥趾(ちょうし)状三角州)。

④；「両側を急斜面に挟まれた」地形は氷河の侵食による。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［練習問題］

［１］（2002年度地理Ｂ本試験第１問問１）

図１中のＡ～Ｄの海岸地域はほぼ同一緯度上に位置するが，その自然環境はかなり異なる。次の①～④の文は，Ａ～Ｄのいずれかの地域における自然環境について述べたものである。Ｄ地域について述べた文として最も適当なものを，①～④のうちから一つ選べ。



国境線は設問にかかわる部分のみを記入した。

図　１

① プレート境界に位置するこの地域では，地震，火山噴火，および氷河の融解による自然災害がよく起こっている。

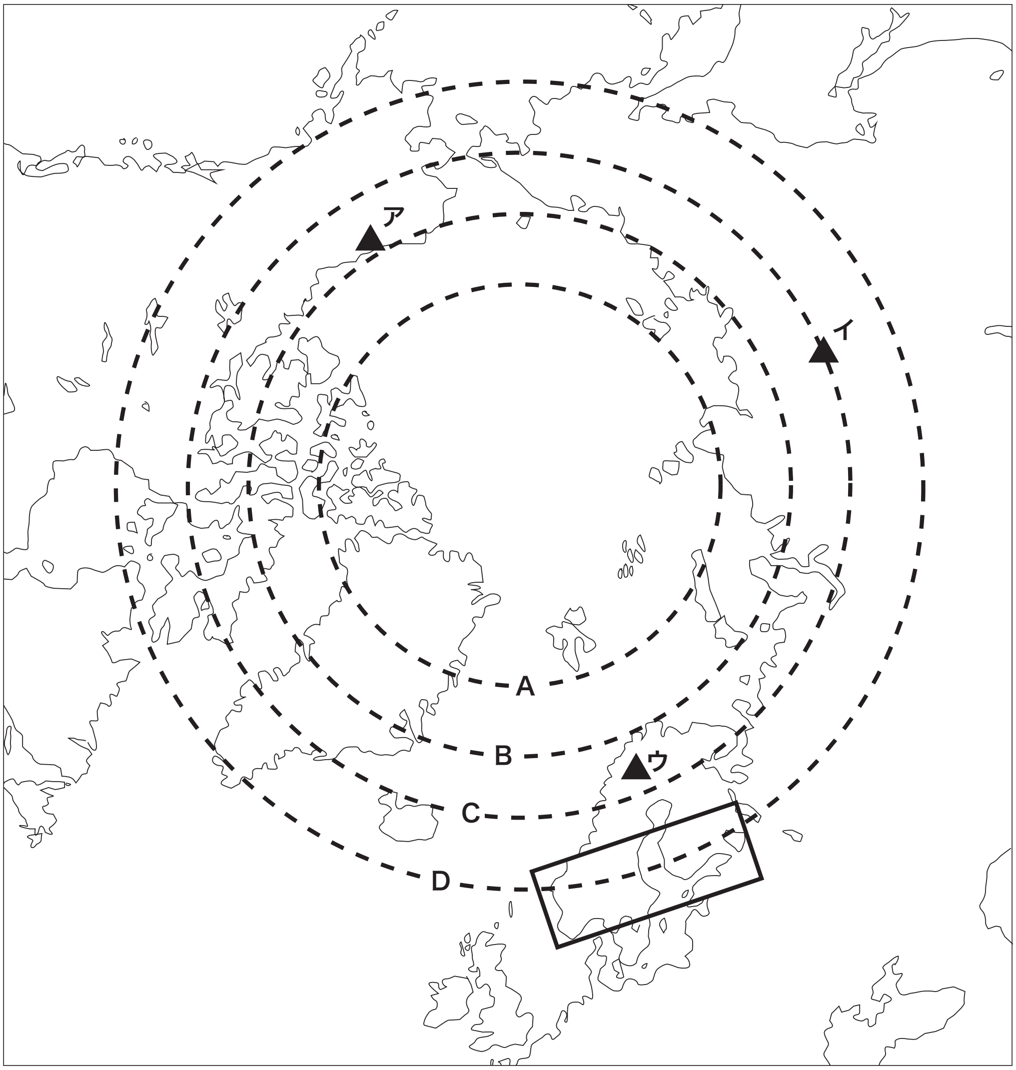
② 最終氷期に厚い氷河（大陸氷床）に覆われたこの地域には，現在は針葉樹林が広がっている。

③ 急峻（きゅうしゅん）な山地が海岸に接するこの地域には，沖合を流れる暖流のために不凍港が存在する。

④ 現在もその大半が厚い氷河に覆われるこの地域には，海岸部にモンゴロイドの居住する集落がみられる。

［２］（2006年度地理Ｂ追試験第５問問６）

次の**図２**は，**図１**中の太線枠内を拡大して示したものである。また，下の**Ｐ**～**Ｒ**の文章は，**図２**中のほぼ同じ緯度に位置する**サ**～**ス**の都市のいずれかについて説明したものである。**Ｐ**～**Ｒ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



北極を中心としたランベルト正積図法。

図　１

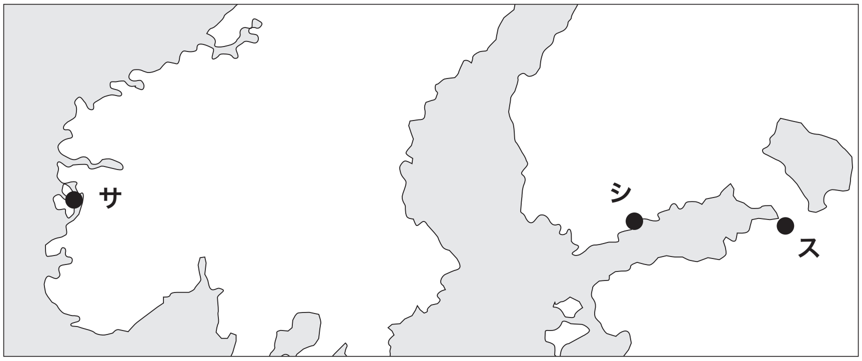


図　２

P　河川の河口部に位置する港湾都市。人口が400万人を超える大都市であり，内水面交通と海上交通をつなぐ拠点となっている。

Q　冬季にも氷結しない海域に臨む港湾都市。かつては造船業と繊維工業が盛んであったが，現在は衰えている。

R　首都でもある港湾都市。かつて隣国の支配下に入った時期に都市の原型が形づくられた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［3］（1999年度地理Ｂ追試験第１問問３）

都市の発達や地域の開発についても，河川流域ごとに特徴がみられる。次の文章**Ｘ**～**Ｚ**は，**図１**中のテムズ川，ライン川，ローヌ川のいずれかの流域の特徴について説明したものである。それぞれの川の説明の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

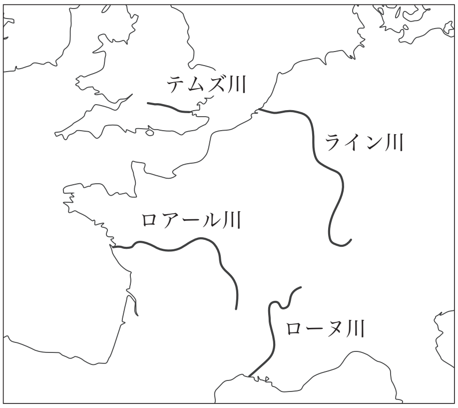


図　1

Ｘ　やや急流であるが古来，重要な交易ルートとなっており，河川沿いに古代起源の都市や定期市に起源をもつ都市がみられる。現在，河口には石油基地，中流域には原子力発電所が立地している。

Ｙ　緩やかな流れは水運に適しており，中流域における19世紀の炭田開発をきっかけに大工業地帯が発達し，石炭や鉄鉱石の運搬船が多数就航していた。河口の港は現在，世界有数の貨物取扱量を誇っている。

Ｚ　勾配が緩やかで河川交通が早くから発達し，河口から数十km上流にある都市が商業の中心であった。この都市を中心にした人口の過密化の結果，大気汚染や水質汚濁の問題が生じた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
テムズ川	Ｘ	Ｘ	Ｙ	Ｙ	Ｚ	Ｚ
ライン川	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｚ	Ｘ	Ｙ
ローヌ川	Ｚ	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｙ	Ｘ

［４］（2005年度地理Ｂ追試験第２問問６）

次の**ア**～**ウ**の文章は，イギリス，ドイツ，フランスのいずれかの国における都市と産業について述べたものである。**ア**～**ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　この国の中南部には，鉄鋼業など重工業の発達した都市が集中する。三角江（さんかくこう）（エスチュアリー）の近くに位置する首都は，世界の金融業の中心地として発展してきた。近年は，その郊外において先端産業の発展が著しい。

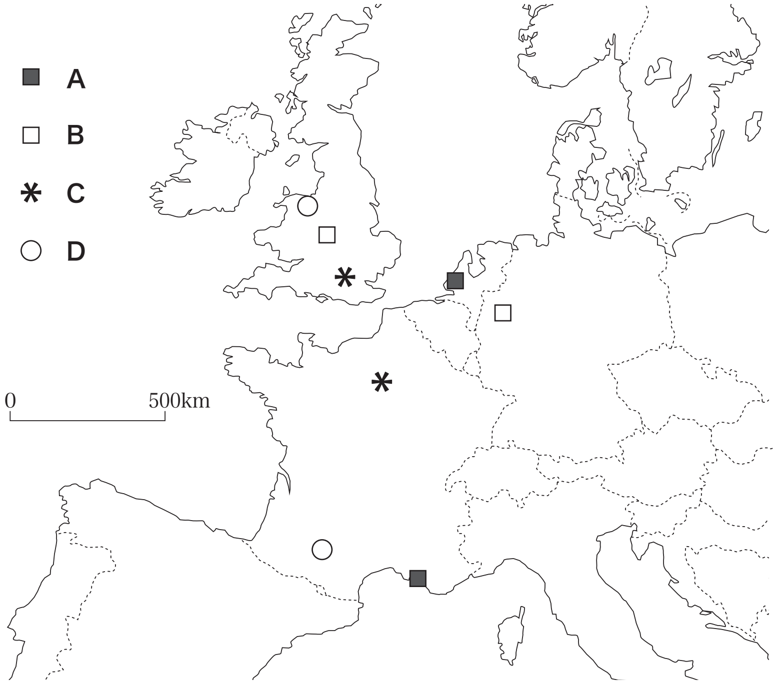
イ　この国では，主要な産業都市が各地に分散している。国土の北西部には，炭田を基礎にしたこの国最大の産業地域がみられる。また，近年では，南部の地方中心都市などで先端産業の発展がめざましい。

ウ　この国では，広い盆地の中央に位置する首都への一極集中が著しい。国土の北東部に鉄鉱石を利用した重工業都市が発達してきた一方で，首都を中心とした大都市圏が，この国最大の産業地域になっている。

	ア	イ	ウ
①	イギリス	ドイツ	フランス
②	イギリス	フランス	ドイツ
③	ドイツ	イギリス	フランス
④	ドイツ	フランス	イギリス
⑤	フランス	イギリス	ドイツ
⑥	フランス	ドイツ	イギリス

［５］（1998年度地理Ｂ追試験第１問問６）

次の図中の**Ａ**～**Ｄ**は，それぞれ共通の特徴をもつＥＵ諸国の工業地域（または都市）を示している。**Ｃ**の説明として適当なものを，下の文①～④のうちから一つ選べ。



① EU諸国による旅客機の共同生産にかかわる組立工場が立地している。
② 石油などの輸入に便利なため，エネルギー革命後，重化学工業が発展した。
③ 炭田などを基礎として発達したが，最近，素材型重工業が停滞している。
④ 都市型の重工業に加えて，近年は先端技術産業の集積がみられる。

［６］（1997年度地理Ａ本試験第１問問１）

太郎君は夏休みにヨーロッパに滞在する父を訪ね，いっしょに自動車でヨーロッパ各地を旅行した。次の図はその旅行ルートを，また次の文章はその時のある一日の紀行文をそれぞれ示している。

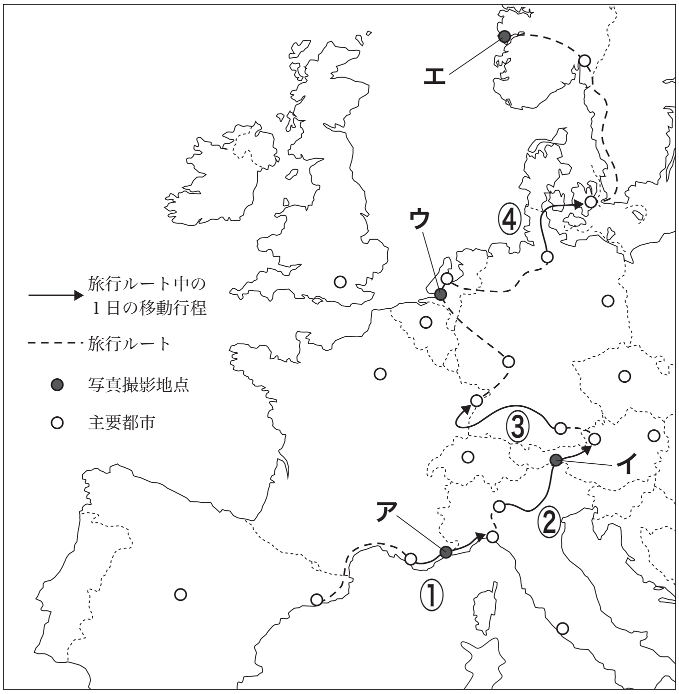


図　1

有名なビール祭りが開かれる大都市を早朝出発した。整備された高速道路の上を，畑や森を抜けて走った。国境に近くなると，ブドウ畑が広がってきた。やがて車は，河畔を緑で囲まれた大きな川に出た。川を渡ると，平行して運河が流れており，さまざまな国旗を掲げた貨物船が行き来する姿を見ることができた。途中，国境検問所の建物があったが，係官はいなかった。パスポートを見せることもなく隣の国へ行くことができたわけである。再び田園地帯を走っていくと，突然，日本企業の工場があらわれて驚いた。この場所は，この国からみれば周辺の位置にあるが，ヨーロッパ連合(EU)においては中心の位置にあるからだと，父は説明してくれた。再び，ブドウをつくる村々を通って，美しい街で宿をとった。

問　前述の紀行文に記述されている太郎君たちの移動行程に該当するものを，図中の実線部分①～④のうちから一つ選べ。

［７］（2005年度地理Ｂ追試験第３問問５）

次の**カ**～**ク**の文は，下の**図３**中に示したイタリアにおける**Ｘ**～**Ｚ**のいずれかの地域の工業について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｘ**～**Ｚ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　衣服や様々な機械類を生産する中小工場が集積しており，新たな成長地域として注目されている。

キ　大企業を主体にしたこの国最大の工業地域であり，自動車・繊維工業のほか，臨海部では石油化学工業が発達している。

ク　地域間格差の是正を目的として，政府の出資した公社などによって，大規模な製鉄所が建設された。

図　３

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	X	X	Y	Y	Z	Z
キ	Y	Z	X	Z	X	Y
ク	Z	Y	Z	X	Y	X

［8］（2015年度地理Ａ追試験第３問問４）

次の**サ～ス**の文は，**図１**中のビルバオ，ブリュッセル，ベルファストの３都市を中心とした地域のいずれかについて述べたものである。**サ～ス**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

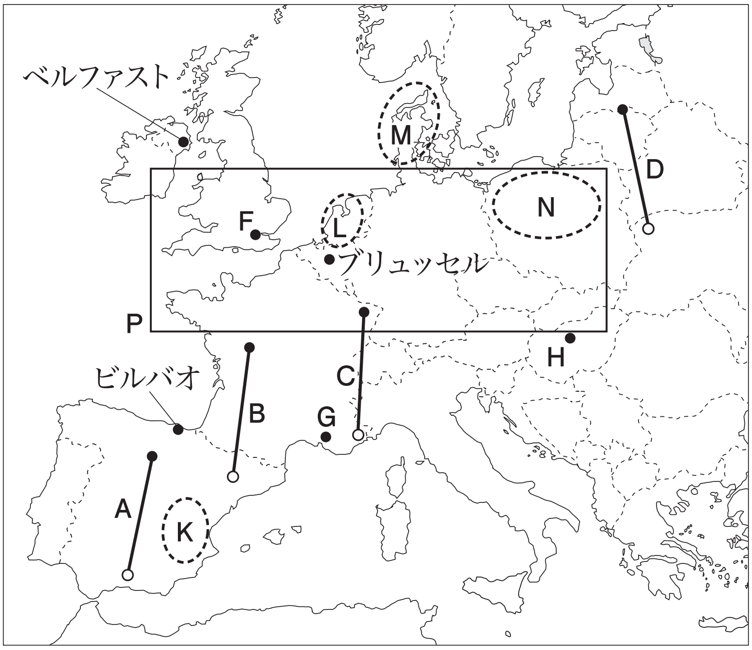


図　１

サ　カトリック系とプロテスタント系の住民間で紛争が繰り返されてきた。
シ　ゲルマン系言語を話す住民とラテン系言語を話す住民が共存する。
ス　バスク語を話す人々が住み，自治の拡大を求める声がある。

	サ	シ	ス
①	ビルバオ	ブリュッセル	ベルファスト
②	ビルバオ	ベルファスト	ブリュッセル
③	ブリュッセル	ビルバオ	ベルファスト
④	ブリュッセル	ベルファスト	ビルバオ
⑤	ベルファスト	ビルバオ	ブリュッセル
⑥	ベルファスト	ブリュッセル	ビルバオ

［９］（2016年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次の①～④の文は，**図１**中の**Ｊ～Ｍ**に示したライン川またはドナウ川に面する都市について述べたものである。**Ｊ**に該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

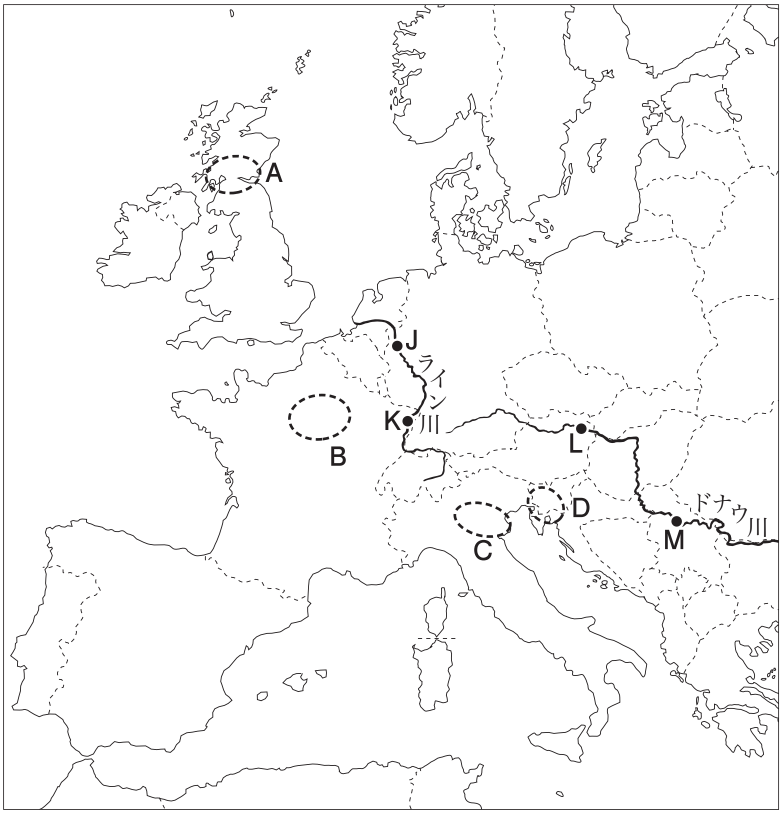


図　１

① 強大な帝国の中心地として成長を遂げた都市で，各種工業が栄えたほか，今日では「音楽の都」として観光客を集めている。

② ヨーロッパでも有数の連接都市（コナベーション）を後背地にもち，外国企業や金融機関など中枢管理機能の集積がみられる。

③ 隣国との間で帰属の移り変わりがあった都市で，独自の文化が育まれ，多国籍企業や国際機関を引きつけてきた。

④ 連邦国家を構成していた時代からの首都で，1990年代の政情不安や紛争により都市の経済発展は停滞した。

［10］（2015年度地理Ｂ本試験第３問問１）

次の①～④の文は，カイロ，ハンブルク，ベネチア（ヴェネツィア），ベルゲンのいずれかの都市の立地とその特徴について説明したものである。ハンブルクに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 三角江（さんかくこう）（エスチュアリー）をなす河口から約100kmほど内陸に発達した都市で，国内最大の港湾都市となっている。
② 潟湖（せきこ）（ラグーン）の中に形成された都市で，近年は高潮による水没の被害に悩まされている。
③ 大河川の三角州（デルタ）の頂点に立地する都市で，現在の市街地は河川の分岐点に発達している。
④ 両側を急斜面に挟まれた入り江に位置する都市で，国内有数の海運業の拠点となっている。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［発展問題］

［１］（2004年度地理Ｂ追試験第３問問１）

次の**ア**～**ウ**の文章は，イギリス，スイス，スペインのいずれかの国における都市の特徴について述べたものである。**ア**～**ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　人口第１位の都市は首都であり，かつては世界有数の港湾都市であった。人口第２位の都市は，産業革命期に工業都市として発達した。
イ　人口第１位の都市は首都であり，国土のほぼ中央に位置する。人口第２位の都市は，首都と並ぶこの国有数の商工業都市である。
ウ　連邦国家を成しており，首都のほかにも規模の大きな都市がみられる。首都の人口規模は，国内で第４位である。

	ア	**イ**	**ウ**
①	イギリス	スイス	スペイン
②	イギリス	スペイン	スイス
③	スイス	イギリス	スペイン
④	スイス	スペイン	イギリス
⑤	スペイン	イギリス	スイス
⑥	スペイン	スイス	イギリス

［２］（2007年度地理Ｂ本試験第２問問２）

次の**図２**中の**Ａ～Ｃ**は，ヨーロッパにおける三つの工業地域の一部を示しており，下の**カ～ク**の文は，**Ａ～Ｃ**のいずれかの特徴について述べたものである。**Ａ～Ｃ**と**カ～ク**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

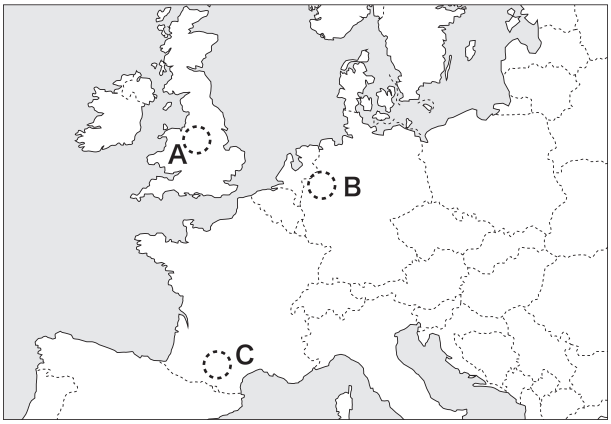


図　２

カ　この付近で産出される石炭や鉄鉱石を利用して，産業革命期から鉄鋼・機械工業が盛んである。

キ　炭田地域に位置し，工業の中心がかつての重工業から，エレクトロニクスや環境，医療技術などの分野に移行しつつある。

ク　学術研究都市であり，航空機の最終組み立てなどの産業が盛んである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
Ａ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Ｂ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
Ｃ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［３］（2010年度地理Ｂ本試験第５問問３）

図１中の**Ｅ～Ｇ**は，ヨーロッパにおける三つの工業地域を示しており，次の**サ～ス**の文は，**Ｅ～Ｇ**のいずれかの特徴について述べたものである。**Ｅ～Ｇ**と**サ～ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

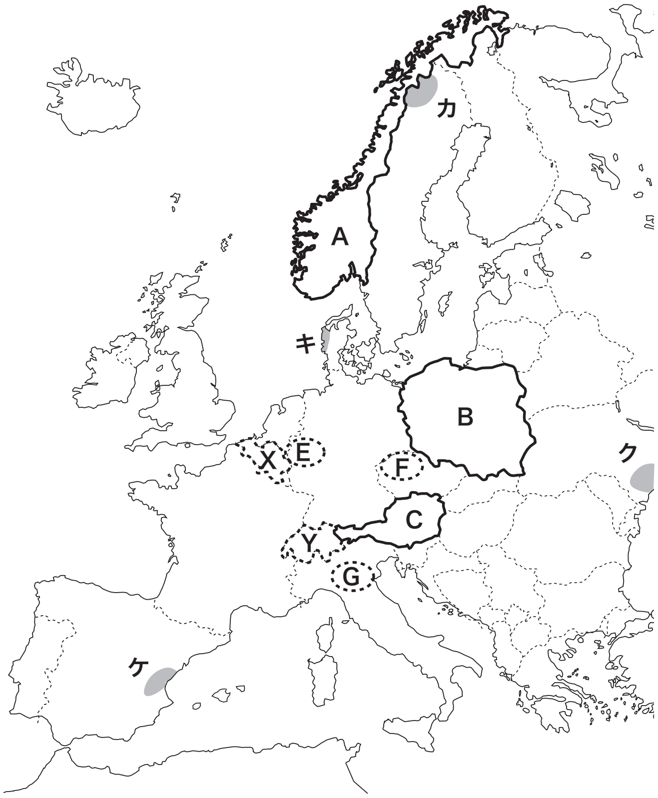


図　１

サ　衣料品や装飾品などの手工業が伝統的に発達しており，企業間の連携をいかした製品開発が行われている。

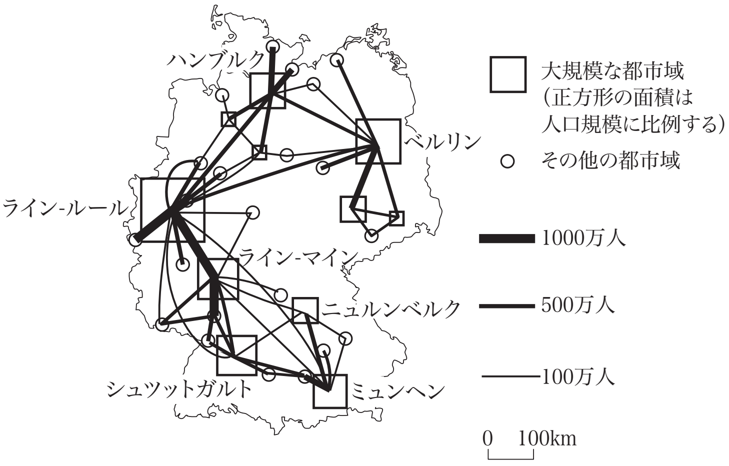
シ　繊維やガラス工業などが発達していたが，近年では賃金の安さから自動車関連の工場などが進出している。

ス　近隣の資源を利用して鉄鋼業が発達したヨーロッパ有数の工業地域であるが，エネルギー革命や構造不況を経て，近年では工業の多様化がすすんだ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	サ	サ	シ	シ	ス	ス
F	シ	ス	サ	ス	サ	シ
G	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［4］（2003年度地理A本試験第3問問5）

次の**図3**は，ドイツにおける都市域間の旅客交通量（100万人以上）を示したものである。**図3**について述べた文として最も適当なものを，下の①〜④のうちから一つ選べ。



統計年次は1993年。
Bundesministerium für Raumordnung. Bauwesen und Städtebau, *Raumordnungsbericht* による。一部改変。

図　3

① ドイツにおける都市の結びつきは，首都の規模が大きいために，首都を中心とした一極集中的な構造を示している。

② ハンブルクからミュンヘンまでの旅客交通が多いのは，ライン川の水運を利用した旅客輸送の発展によるものである。

③ ドイツ中央部で大規模な都市域がみられないのは，低湿な地形条件によって発展が遅れたためである。

④ 過去の東西ドイツの分断による影響は，ドイツの旅客交通が東西方向よりも南北方向で活発な点に表れている。

［５］（2009年度地理Ｂ追試験第６問問４）

次の**カ～ク**の文は，下の**図３**中の**Ｐ～Ｒ**のいずれかの地域でみられる民族紛争について述べたものである。**カ～ク**と**Ｐ～Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

図　３

カ　カトリック系住民とプロテスタント系住民が対立してきた。

キ　キリスト教系住民とイスラム教系住民が対立してきた。

ク　独自の言語を使う民族が独立国家の建設を目指す運動を展開してきた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［練習問題］解答

［１］正解；②

Ｄ地域はスウェーデン・フィンランドのバルト海（ボスニア湾）に面する地域。偏西風や暖流の影響が及ばず，冬季は極めて寒冷な冷帯気候となる。針葉樹林に恵まれ，林業が発達する。②が正解。なお，大陸氷床は現在のドイツやポーランド北部にまで及んでいた。この地域もその影響で湖が多くなっている（氷河湖）。

①は**Ｂ**に該当。アイスランド島はプレートの広がる境界である海嶺上に形成された火山島。

③は**Ｃ**に該当。暖流（北大西洋海流）の影響によってノルウェーの沿岸は不凍港となっている。古期造山帯のスカンジナビア山脈が海岸線に迫り，険しい地形が連続。

④は**Ａ**に該当。グリーンランドは沿岸部を除き，年間を通じ氷雪に覆われている。モンゴロイド系のイヌイット（エスキモー）による自治が行われる。

［２］正解；⑤

サがわかりやすいだろうか。ノルウェーの沿岸部は暖流の影響で冬季でも凍結しない。反対にバルト海（フィンランド湾）に臨む**シ**と**ス**は凍結。**サ**が**Ｑ**に該当。ベルゲンである。

さらに**Ｒ**の「首都」に注目。**ス**はロシアの都市であるが，ロシアの首都は内陸部のモスクワであり，**ス**ではない。また，**Ｐ**の「400万人」にも注意しよう。北欧諸国の人口は少なく，フィンランドもわずか500万人である。それなのに一つの都市に400万人などという莫大な人口が集中することがあるだろうか。一方で，ロシアの人口は１億４千万人台に達し，400万人規模の都市があっても不思議なことではない。以上のことを総合し，**シ**が**Ｒ**（フィンランドの首都ヘルシンキ），**ス**が**Ｐ**（ロシア第２の都市サンクトペテルブルク）と考える。

［３］正解；⑥

ヨーロッパの地形は「北低南高」。**X**の「急流」，**Y**の「緩やか」，**Z**の「緩やか」に注目しよう。急流となるのは南部を流れるローヌ川だけであり，**X**がローヌ川に該当。

さらに**Y**では「炭田」に「大工業地帯」が形成されたとあるが，これはドイツ西部のルール工業地帯である。ライン川の水運を利用して成り立った鉄鋼業地域であり，多くの「運搬船」も就航。**Y**がライン川であり，正解は⑥。なお，河口の港はロッテルダムのユーロポート。

Zがテムズ川であるが，河口はエスチュアリーとなっており，その奥にはイギリス最大の港湾を有するロンドンが巨大な市街地を展開させている。

［**4**］正解；①

ヨーロッパ主要国については首都の位置が極めて大事。

イギリスの首都ロンドンは国土の南部に位置する。大陸氷床はイギリス本島の南部までは及ばず，肥沃な土壌の残されたこの地域に人口が集中し，ロンドンが形成された。テムズ川のエスチュアリーに面し，国内最大の港湾都市でもある。**ア**がイギリス。

ドイツの首都ベルリンは国土の東部に位置。人口最大都市であるものの，旧東ドイツに位置し，経済的には立ち遅れている。北部の港湾都市ハンブルク（エルベ川のエスチュアリーに面する）や，西部の大工業地域であるルール地方（多くの中小都市が集まり，連接都市を形成），南部バイエルン地方の中心都市ミュンヘン（伝統的なビール工業のほか，自動車や先端産業など）のように，国土周辺部に主要都市が分散している。**イ**がドイツ。

フランスの首都パリは国土の北部に位置。パリ大都市圏は1000万人以上を有し，フランスの経済や文化の中枢である。**ウ**がフランス。

［**5**］正解；④

首都の位置がポイントとなっている。**C**はイギリス南部とフランス北部に位置するが，それぞれロンドンとパリであり，人口規模が極めて大きい大都市圏を有する。都市型の消費財生産を中心とした総合的な工業が発達し，いずれも国内最大の工業地域となっている。④が正解。

さらに**B**についてはドイツ西部に注目。ルール工業地帯である。石炭を利用し

た鉄鋼業地域であり，③が該当。**A**はオランダがポイント。ライン川の河口付近につくられた人工港のユーロポート(ロッテルダム)である。ヨーロッパ最大の貿易港であると同時に，原料輸入に適し，石油化学コンビナートも開かれている。②が該当。**D**はフランス南部のトゥールーズが重要。航空機の共同工場が立地(エアバス社など)。①が該当。

［6］正解；③

一つ目のポイントは「ブドウ畑」。ブドウの栽培北限はパリ盆地であり，これより北側のオランダやデンマークではブドウの栽培がみられない。④は誤り。さらに「運河」,「貨物船が行き来」などに注目。ヨーロッパの地形は「北低南高」であり，地形が険しい南部では川の流れが急となり，船舶航行には適さない。また地中海地域では夏季に少雨となるため，河川流量の変化が大きく，これもまた内陸水運が発達しない一つの要因となっている。①と②が誤りとなり，消去法により③が正解。

③の起点はミュンヘン。伝統的な「ビール」工業で知られるドイツ第３の都市である。終点はストラスブール。フランス東部アルザス地方の中心都市であり，古くからフランスとドイツの係争地であった。ライン川に接し，多くの運河の結節点となる船舶交通の要所で，EUのヨーロッパ議会が置かれる国際都市でもある。

［7］正解；③

カは**Y**に該当。「サードイタリー(第三のイタリア)」とよばれる地域であり，中小工場のネットワークを活かした伝統的な衣服・皮革製品の生産で注目を集める，古くて新しい工業地域である。

キは**X**に該当。イタリア最大の工業地域であり，自動車工業のトリノ，ファッション産業のミラノ，臨海型工業都市のジェノバが含まれる。

クは**Z**に該当。南北格差是正のバノーニ計画の一環として，タラントに輸入資源に依存した臨海型の製鉄所が建設された。

［8］正解；⑥

都市名にはこだわらず，場所に注目しよう。

ベルファストが含まれる北アイルランド地方(イギリス)は，プロテスタント系の人々とカトリック系の人々が争う歴史を有する地域。**サ**に該当。なお，イギリスはプロテスタントが，アイルランドはカトリックが，それぞれ主流である。

ブリュッセルはベルギーの首都であるが，この国は北部のフラマン人がオランダ語を，南部のワロン人がフランス語を，それぞれ使用する多言語国家。**シ**が該当。

ビルバオを含むスペイン北部からフランス南部にかけての地域がバスク地方。彼らの用いるバスク語は周辺言語とは全く異なり，独自の文化を有する。一部では自治の拡大や独立を求める動きも。**ス**が該当。

[９]正解；②

Ｊはデュッセルドルフ。ライン川に沿う商工業の発達した都市であるが，北にはルール工業地帯の諸都市(デュイスブルクなど)，南にはケルンやボンなど中小都市が並び，それぞれの都市圏が重なり合うことで，連接都市(コナベーション)を形成している。ヨーロッパ経済の中心地として，外国から企業が進出し(日系企業も多い)，金融業の発達もみられる。②が正解。また，ライン川沿いではないが，近隣のフランクフルトには共通通貨ユーロを取り扱うヨーロッパ中央銀行が置かれている。

ちなみに，コナベーションについては「人口数十万人クラスの都市が連続している」地域と考えるとわかりやすいと思う。本問で取り上げられているライン川沿岸地区のほか，アムステルダムやロッテルダムが含まれるオランダも該当する。一方，アメリカ合衆国のボストンからニューヨーク，ワシントンD.C.が含まれる範囲はメガロポリスであり，こちらは百万人規模の大都市が鉄道や高速道路などで結びついた，よりスケールの大きな都市群を指す。

Ｋはストラスブールであり，③が該当。この都市が含まれるアルザス地方は，肥沃な土壌と温暖な気候，さらにライン川に面するという交通上の優位点もあり，長い間フランスとドイツの係争地であった。現在はフランスの一部だが，ドイツ系の人々も多い。

Ｌはウィーン。「音楽の都」として有名。①が該当。

Ｍはベオグラードで，現在はセルビアの首都であるが，旧ユーゴスラビアの時代には連邦全体の首都でもあった。④が該当。

[10] 正解；①

ハンブルクはドイツ北部の港湾都市で造船業が発達。エルベ川のエスチュアリーに近接する。①が正解。

②はベネチア。イタリア北東部の観光都市。砂州によって囲まれた潟湖の中に市街地が広がり，人々は小舟に乗って移動。「運河の街」である。

③はカイロ。ナイル川のデルタに位置。

④はベルゲン。ノルウェーの都市で，フィヨルドを利用した天然の良港を有する。「両側を急斜面に挟まれた入り江」はフィヨルド。

〈Note〉

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［発展問題］解答

［1］正解；②

アはイギリス。首都ロンドンはテムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発展した。人口第２位のバーミンガムは，鉄山と炭田に近接し，原料立地型の鉄鋼業がかつて栄えた。現在は機械工業など。

イはスペイン。首都マドリードは国土中央部の高原上に位置する。人口第２位のバルセロナは，地中海に面する港湾都市。フランスなどから自動車工場が進出している。

ウはスイス。ヨーロッパの国としては例外的に人口最大都市と首都が一致しない。連邦国家であり，州ごとの独自性が強く，公用語も４つ規定されている（ドイツ語，フランス語，イタリア語，レートロマン語）。なお，首都ベルンの人口は問題文では「第４位」とされているが，現在は第５位である。

［2］正解；①

カ；「産業革命」がキーワード。イギリスの**A**が該当。バーミンガムでは付近で産出される鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が興った。

キ;「炭田」を中心としているのは，ドイツ北西部のルール工業地帯。**B**が該当。ただし，近年は重工業の停滞により，知識集約型の産業への転換が図られている。

ク；「航空機」の共同工場があるのはフランス南部のトゥールーズ。**C**が該当。

［3］正解；⑥

最重要のキーワードは，**シ**の「賃金の安さ」。経済レベルの低さ，すなわち１人当たりGNIが低いことを表している。これに該当するのは東ヨーロッパ地域であり，**シ**がチェコの**F**に該当。安価な労働力が有利な条件となり，ドイツなどから自動車工場が進出。

さらに**E**の場所に注目しよう。ドイツ西部であり，ルール工業地帯に該当。「近隣の資源」すなわち石炭を利用して「鉄鋼業」が発達したことから，**ス**がこの地域

の説明文となる。近年は鉄鋼業は停滞しているが，先端産業を誘致するなどして，新たな工業地域へと再生している。

よって正解は⑥となるが，**G**のイタリア北部にも注目しておこう。これは**サ**が該当し，伝統的な技術を生かした皮革工業などが集積している。「第三のイタリア（サードイタリー）」である。ボローニャなど。

［**4**］正解；④

ハンブルク，ライン・ルール，ミュンヘンなどは旧西ドイツ。関係性は密接である。それに対し，ベルリンは旧東ドイツ。ハンブルクなど北部の地域を除けば，他地域とのつながりは希薄。

①；ドイツの人口最大都市はベルリン（350万人）であるが，ベルリンを中心とした構造はみられない。

②；ライン川は国土の西部を流域に収める。ハンブルクはエルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市。ミュンヘンは山岳部に位置し，その北をドナウ川が東へ流れている。

③；とくにそういった地形条件はみられない。本図には表されていないが，中央部にも自動車工業で名高いヴォルフスブルクなどの都市がみられる。

［**5**］正解；②

カ；カトリックとプロテスタントが対立するのは北アイルランド地方。**P**が該当。アイルランド島はカトリック地域であるが，入植したイギリス系の人々（支配層を成していた）はプロテスタントであり，社会的な立場の格差もあり，激しく対立した。

キ；キプロスは実質的な分裂国家であり，南部を中心に多数派のギリシャ系キリスト教徒が居住するが，北部には対岸のトルコから渡ってきたイスラム教徒が住んでいる。

ク；「独自の言語」を使用するのはバスク人。フランスからスペインにかけての地域であり，周辺の言語とは全く異なる。ただし，カトリック教徒であり（大航海時代の宣教師の多くはバスク出身者だった），宗教的な対立はない。